

新しいビジョンとともに、清く・正しく・明るく

「福島県立視覚支援学校」ホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、明治31年に渋木重庵、高橋金七、長沢正太郎氏らのご尽力により、福島第一尋常高等小学校の一部に、私立福島訓盲学校として創立されました。昭和19年には、県立へ移管され、福島県立福島盲啞学校に改称となり、その後数度の名称変更を経て現在に至っています。

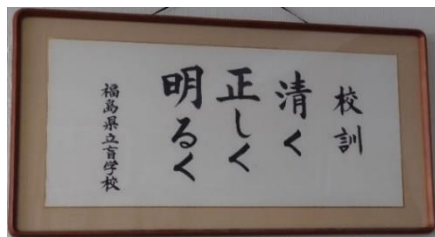
今年、創立から127年目を迎えますが、開校以来、長年にわたり保護者の皆様をはじめ地域の方や関係機関等の皆様の多大なるご理解とご支援を受け、今日を迎えることができますこと、あらためて感謝申し上げます。

現在、本校は幼稚部（R5開設）から高等部まで設置され21名（13c）の子どもたちが学んでいます。子どもたちそれぞれに見え方を支える視点に違いはありますが、すべての子どもたちが安全に安心して学べる最適な環境を整え、社会の変化に対応できる生きる力と確かな学力を身につけるため、日々、教育実践の充実に努めています。また、小中学校や高等学校等に準じた教育課程を取り入れるとともに、保健医療科や専攻科医療科では、将来を見据え高度な知識や技能を身につけるため、あん摩マッサージ師やはり師、きゅう師の国家資格の取得を目指した職業教育にも取り組んでいます。

今年度、本校では子どもたちの目指す姿や方向性を分かりやすく示すため、「学校経営・運営ビジョン」をリニューアルしました。新たなビジョンでのスタートとなります。

将来の幸福な社会生活に向け、子ども一人一人が健康で、『清く』澄んだ心と、感じる心を育み、確かな学びから、『正しく』生きていく術を身につけ、『明るく』、強く、そして、しなやかに成長していくことができるよう、自立と社会参加に向けた確かな学力と豊かな心の育成に努め、学校としての役割と責任を果たして参りたいと考えます。

このホームページには、日頃の子どもたちの活動の様子や教育活動の成果などを紹介しております。様々な角度から多くの視点でご覧いただき、視覚支援学校を知っていただきたいと思いますので今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



校長 佐藤 清悦